

鹿児島豪雨災害20周年講演会

語り継ぐ大災害の記憶

平成5年に発生した未曾有の鹿児島豪雨災害から20年目に当たる今年、大災害の記憶を新たにするにより、近年頻発する大災害時での対応について考えるために、当時の大災害に関する基調講演や体験談等の講演会を開催いたします。参加無料ですので、是非ご参加ください。

◆基調講演◆

『8・6豪雨災害から学ぶこと』

今後も発生するであろう大災害へ適切に対応できるよう、20年前の8・6豪雨災害やその後も各地で頻発した災害から学ぶべきことについて講演をいただきます。



吉原 進
鹿児島大学名誉教授

日時 **平成25年7月31日(水)**

13:00 ~ 16:00

会場 **かごしま県民交流センター県民ホール**

鹿児島市山下町14-50

プログラム(13:05~16:00)

■基調講演 (13:05~13:50)

「8・6豪雨災害から学ぶこと」

吉原 進 鹿児島大学名誉教授

■「大災害を経験して」(14:00~16:00)

・「道路災害への対応と対策」

牧迫 義廣 (元鹿児島県道路維持課)

・「土砂災害への対応とその後の取り組み」

福元 純二 (元鹿児島県砂防課)

・「都市河川の氾濫と治水対策」

牟田神 宗征 (元鹿児島県河川課)

・「西田橋の移設保存」

長谷場 良二 (元鹿児島県都市計画課)

※1 CPD・※2 CPDS登録講習

(※1,2 CPD登録証、CPDS技術者証を必ず持参ください)

主催
共催
後援

鹿児島県

(公財)鹿児島県建設技術センター

NPO法人 鹿児島砂防ボランティア協会、(一社)鹿児島県建設業協会、
(一社)鹿児島県建設コンサルタンツ協会、(公社)鹿児島県測量設計業協会、
(公社)鹿児島県地質調査業協会